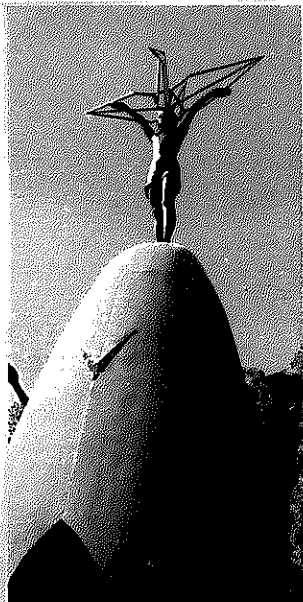


広報 しろね

9. 1
2004 No. 668

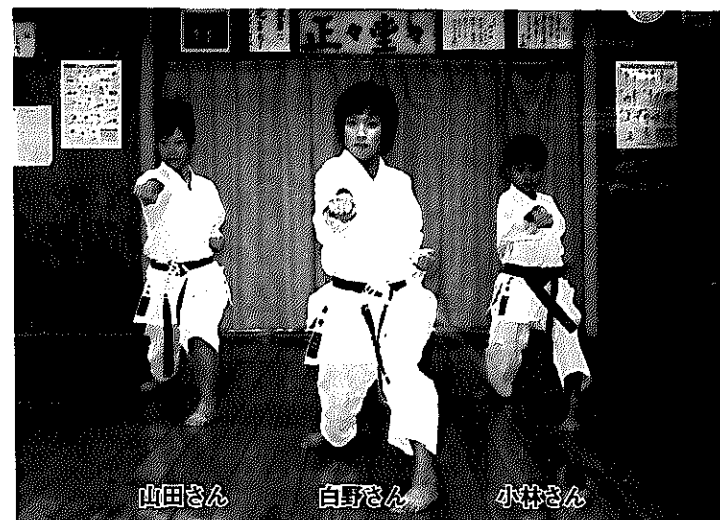
広報しろねは、ホームページでもご覧になれます
http://www.city.shirone.niigata.jp

白根市の財政状況 平成15年度一般会計決算見込み



CONTENTS (もくじ)

- 厳しさを増す白根市の財政状況..... 2、3
- 県中学総合体育大会優勝者紹介..... 4
- 市政クリップ・まちの話題
おしゃべりさん..... 5
- お知らせ..... 6~9
- みんなのページ..... 10
- ズームアップ..... 12
- 表紙 市内中学生広島平和祈念式典派遣事業



悔しさバネに躍進を誓う 空手道場「空志館」全国へ

普段は恥ずかしがり屋で、笑顔のかわい子の子。しかし先生の声が掛かるとその表情は一変。鋭い目つきへ。新飯田の空手道場「空志館」の三人が、この夏全国の舞台に立ちました。八月六日から鳥根県で開催されたインターハイで、型の部に山田小百合さん(三条高校一年)が、また七日から仙台市で開催された日本空手協会全国大会で、型と組み手の部に白野瑞穂さん(白南中三年)、型の部に小林春香さん(新飯田小五年)が出場しました。山田さんは県の高校総体を二位で通過。全国への切符を手に入れました。結果は惜しくも初戦敗退。「自分の力が思うように出せなかった。悔しかった」と苦笑いで振り返ります。白野さんは、組み手こそ初戦敗退したものの、型ではベスト16まで勝ち進みました。指導者の小日向敏則さん(下中村)によると、「練習のときから調子が良かった」とのこと。しかし白野さんは、「プレッシャーに負けた」と悔しそうに話します。「全国大会までには黒帯になりたい」とけいこに励んだ小林さん。大会直前の昇段審査で見事合格。全国大会には真新しい黒帯で出場できました。大会は惜しくも二回戦敗退。「とにかく悔しかった」としかめっ面です。この夏の悔しさをバネに、気持ちは次なる目標へ。山田さんは国体の最終予選、白野さんと小林さんは小中学生スポーツ少年団の県大会です。空志館の道場では、今日も少女たちがひたむきにけいこに打ち込みます。

※資源保護のため再生紙を使用しています。※紙上の記事・写真の無断転用を禁じます

▶数字で見る市勢 ※8月1日現在 ※)内は前月比

人口	40,538人(-14人)
男	19,811人(-6人)
女	20,727人(-8人)
世帯	11,581戸(+10戸)
出生	18人
死亡	22人
7月中の転入	69人
転出	79人

◎アテネ五輪では日本選手が大活躍。◎学生時代、柔ちゃんこと谷亮子選手に似ていると言われて以来、ひそかに親近感を抱いてきたわたし。同じ背格好の友人との合い言葉は、「小さくたって、でっかいぞー!」。◎今回、体力の限界説をはねのけ、見事金メダルを獲得した柔ちゃん。ひたむきな闘志、あきらめないことの大切さを、あらためて教えてくれた気がしました。(も)



レルヒと風合戦

明治四十四年六月六日、北風が吹く絶好の風日和。当時、高田に駐在していた聯隊付オーストリア武官レルヒ中佐は、風見物のため白根を訪れました。レルヒは日本に初めてスキーを紹介したことで知られています。風の戦いに感動したレルヒは、優勝旗の寄贈を約束して帰り、程なく届きました。これを契機に風合戦協会が結成され、優勝制度も設けられたのです。風合戦が近代化へと脱皮を遂げた、画期的な出来事でした。

風を締め取ったり、のしり合ったり、石を投げつけたり。ルールも何もない、野蛮な風の争いだったのです。なのに外国の偉い人が、「武士道的合戦」と称賛してくれたのです。「へえ」と町の人は驚き、風合戦を再認識したのでした。

あなたも風博士

文・田村和雄
「しろね大風と歴史の館運営委員会委員長」